

難民選手団を応援



国連UNHCR協会の天沼耕平さんから質問を受けるこども記者

ホストタウン特別講座

文京シビックセンターで6月20日の世界難民の日（ふんきよ）に文の京ホストタウン特別講座が開かれました。

11カ国から29人参加

難民は戦争などで外国に逃げて生活している人です。東京2020オリンピックでは11カ国から29人の難民の選手が参加します。前回より19人も増えました。その中には柔道の選手もいます。これからもっと難民の人たちのことを勉強して、小さなことでも自分ができることを考えて、難民の人たちを応援していきたいと思っています。（小5/ゆき）



青岐坂を下る—中澤瑠璃撮影

4 区ゆかりの選手

オリンピック・パラリンピックこども新聞は、こどもたちが記者になって取材や写真撮影に取り組み、みなさまにおどける新聞です。



開会式で入場行進する難民選手団—ブラジル・リオデジャネイロのマラカナン競技場で2016年8月（毎日新聞社提供）

難民の子どもたちの77%は小学校に通っていますが、23%は家の仕事をしたり、身を売られたりすると聞いて、とてもショックでした。難民になっても、自分の能力をいかして大変な中で強く生きていくのは前向きです。紛争だと思います。紛争だけが

前向きに強く生きる

「広める」「参加する」「寄り添う」が求められていると教えてくださいました。（小6/田中杏依）

心や体の健康を維持

国連UNHCR協会の天沼耕平さんによると、難民の人たちにとってスポーツは宝物です。心や体の健康を維持することができるからです。難民問題を解決するためには「知る」「広める」「参加する」「寄り添う」が求められていると教えてくださいました。（小6/田中杏依）

紛争で右足を失っても

私は今まで、難民という言葉を知りませんでした。パラリンピックに参加する難民選手団の中には、右足を紛争で失くしてしまった選手がいます。命を落としたりけがをしたりする紛争や戦争をなくすために、自分にできることを考えて行動することが大事だと思いました。（小4/加藤大和）

自分の発想ふくらませ

私は初めて難民という言葉自体を知りました。乳幼児も小学生も紛争から逃げ回り苦しんでいたと聞き、ありえないと思いました。私は特別講座で、他の人に自分の意見を聞いてもらい、他の人の意見を聞くことによって、自分の発想をふくらませることができました。（小5/中村百合香）

理解して寄り添う

難民の子どもで小学校に行けるのは77%、中学高校は31%、大学は3%だけです。行けない理由は家の手伝いや戦争に行かなければならなくて、自分の能力を発揮できず、不公平だと思いました。不公平をなくすには、難民のことを理解し、考え、寄り添うことが大切です。（小4/垣本律紀）

希望を持ち続けて

難民の人たちは自分の国に住めなくなり家族とも離れ、可哀そうだと思いました。だけど、希望を持ち続け、オリンピック・パラリンピック選手になったことがすごいと思いました。難民の人がいない平和な世界になればいいと思います。（小5/数田麻華）

一人一人が自覚して

東京2020大会では難民選手団として、オリンピックには29選手が12種目に、パラリンピックには6選手が出場する予定です。文京区はパラリンピック難民選手団のホストタウンとして応援します。私たち一人一人が難民の問題を自覚することが、難民を増やさないための第一歩だと思いました。（小6/加藤三可里）

SDGsを意識して

男子競泳のラミ・アニス選手はシリア出身です。14歳から水泳を始め、トルコに避難し、海路でギリシャに渡り、そこから歩いてベルギーにたどり着き、2016年のリオ大会100mバタフライに出場しました。SDGsを意識して生活することが、間接的に難民の支援につながればいいと思います。（小5/田中沙英）

スポーツで世界へ発信

難民には母国を追われただけでなく、夢を奪われた人や家族と離れた人、家を失った人などがいます。家族とテレビを見たり、友達と笑い合ったり、国籍があることも当たり前ではないかもしれません。中には、スポーツを通して難民について世界中に伝えていく選手もいます。そうした人たちの姿勢に感銘を受けました。（中3/ライノ）

幸運見つけ走り抜く

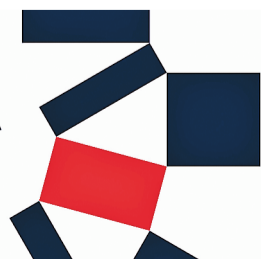
難民の母国が早く平和になってほしいと思いました。世界の100人に1人が平和な生活や家族、住む所に恵まれています。（中3/大迫環）

身近な人に教えたい

東京2020オリンピックに出場する難民選手団はさまざまな国籍の方がいます。マンマ・ザダさんはアフガン難民で自転車選手として世界で活躍。現在はフランスに住み、アフガン女性が自由にサイクリングができるように、と活動しています。私は今後、難民問題や選手について身近な人に教え、できることを考えていきたいです。（中3/大迫環）

文京区は6月26日、東京2020パラリンピック難民選手団のホストタウンに全国で初めて登録されました。

教育プログラム
【ようい、ドン!】



学校の建物を見ながら

水道橋の信号を渡ると都立芸高の赤いオブジェが目に入りました。順天堂大学のそばから方向を変え、春日通りの坂を上ると、中央大学、都立竹早高校、東京学芸大学付属竹早中学校・小学校、区立茗台中学があり、区立第一中学の近くを通過して、ゴールの教育の森公園に到着しました。学校の建物の違いを見るのも楽しかったです。(小4/大堀真真)



なっていました。せっかくなら上ってきた坂を下り、シビックセンターから富坂警察署までの長い坂を上りきると、あとはほとんど平らでした。ゴールでは達成感がありました。(小4/芹川莉那)

通りの木々が涼しく

聖火リレールートには「日本マラソンの父」と言われている金栗四三が教師をしていたころ勤めていた東京府立第二高等女学校(現都立竹早高校)があります。ルート途中の外堀通りは、木がたくさん植えてあり、走っていると涼しかったです。また自転車が走る道と歩行者が歩く道と分かれていました。(小6/田中杏依)

大舞台で、うらやましい

聖火リレーのルートになっている春日通りや、シビックセンターを通る礒川マラソン大会に2回出場したことがあります。坂を聖火を持って上るのは大変だろうなと思います。聖火ランナーの人たちはこんな大きな舞台で走れて、かっこよくてうらやましいです。(小6/今津利康)

トーチ持って長い上り坂

文京区には115カ所以上の坂道があり、お茶の水坂、新巻坂、富坂、湯立坂を歩きました。長い上り坂では、トーチを持ったランナーにはけっこうきついと思いました。富坂からゴールの教育の森公園までは、日本人初のオリンピック選手の金栗四三が、通学路として毎日走った道です。(小5/ゆき)

ゴールでは達成感

上り坂の先にある順天堂大学は新型コロナワクチンの接種会場に



聖火リレーが上り坂に入る富坂下交差点

水戸光圀が「後樂園」命名

後樂園は水戸藩初代藩主、徳川頼房が作庭家・徳大寺左兵衛に命じて築いた庭園です。第2代藩主の水戸光圀が名付けて、1629(寛永6)年に完成しました。

西アフリカ・ベナンの大使館は区内唯一の大使館です。有名なタレントにゾマホン・ルフィンさんがいます。(小5/福島真人)

天照皇大神をおまつり

ルート周辺には小石川大神宮があります。伊勢の「遙宮(とうのみや)」と呼ばれ、天照皇大神をご祭神としておまつりしています。今年5月7日に本殿が新しくなり、神社の説明書きがいろんな所であって分かりやすいです。(小4/久保山澤音)

播磨坂に不思議な銅像

播磨坂は道路の中央部が緑道として整備されています。坂の上半分は足元にさくら模様のタイルがある洋風ゾーンで、「風韻」(佐藤忠良作)の銅像があります。下半分は水路があり、小さな橋がかかる和風ゾーンで、私が特に好きな「哲学者」(掛井五郎作)の銅像があります。きつ



播磨坂にある緑道。オアシエが立っている

と難しいことを考えているのだろうけど、とても面白そうな姿の不思議な銅像です。(小5/木村夏央)

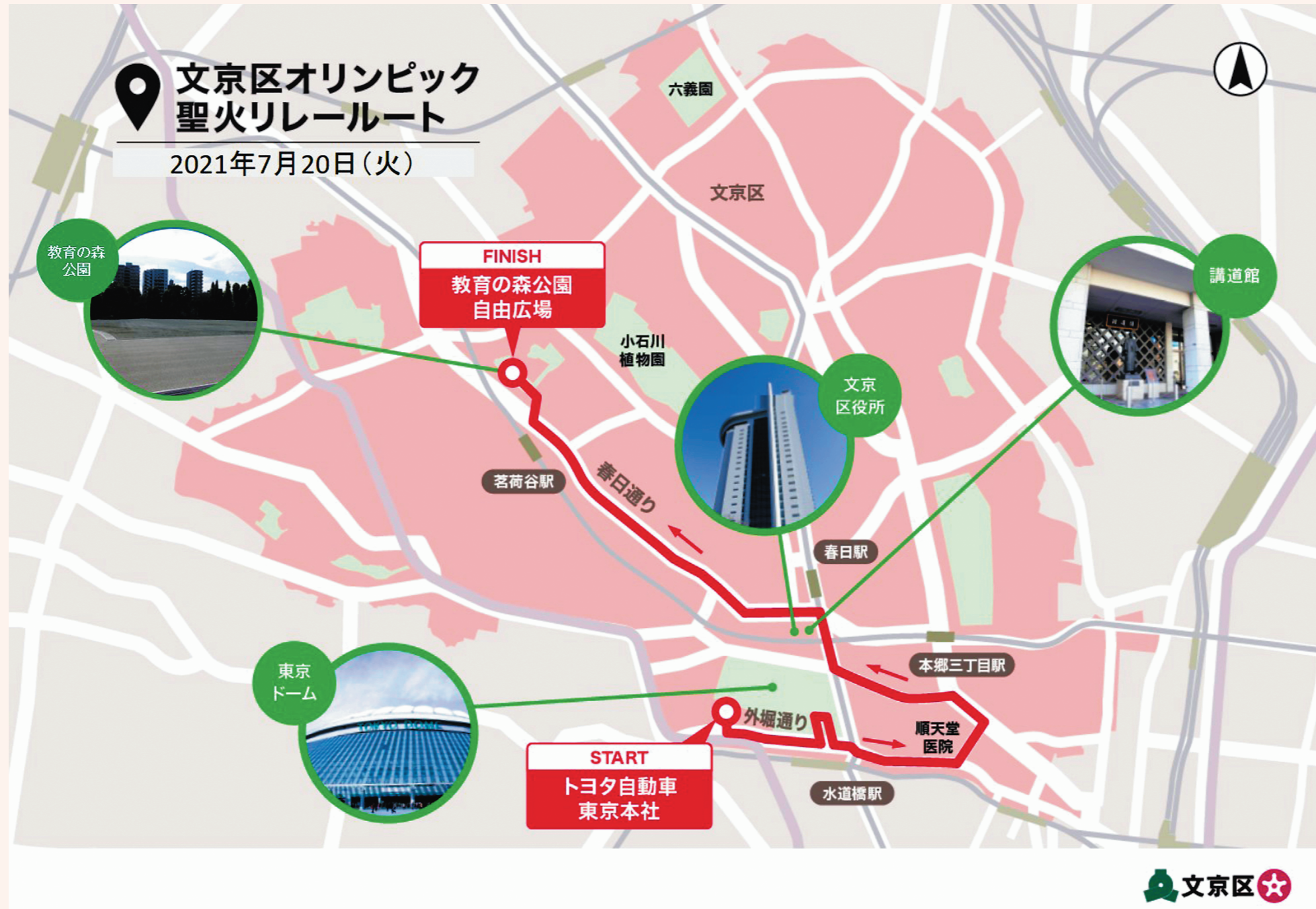
魅力的な場所が多く

老岐坂を下る途中の右側に「東洋女子歯科医学専門学校発祥の地」という石碑と説明があります。白山通りを右折すると講道館前に嘉納治五郎の銅像があり、ゴール地点の教育の森の横には「筑波大学」と「放送大学」があります。ルートには魅力的な場所がたくさんあると思います。(小5/豊島悠太)

聖火リレールート 歩いてみた

7月20日 区内を駆ける

文京区の聖火リレーは7月20日に行われる予定です。リレーはトヨタ自動車・東京本社前を出発し、順天堂医院、シビックセンターを経て、教育の森公園自由広場にゴールします。この記事ではそれぞれルートを歩き、街の様子取材しました。



トヨタ東京本社前のおじさい



スタート地点で色鮮やか

文京区の聖火リレールートのスタート地点、トヨタ東京本社には緑いっぱいの植え込みがあり、紫、青、白のおじさいが涼しげに咲いていました。本番に向けて準備していることなどを聞くと、トヨタの方は「選手や応援の方の中に外国人もいらっしゃると思い、外国語を話することができる人をたくさん採用しています」。東京ドームホテルの方は「選手が通るときに、車を誘導することに気を付けます」と答えてくださいました。(小5/小澤一葉)

宇宙に咲く花をイメージ

文京区の聖火リレーでは、地図を定規で測ると約5%高くなることを知りました。東京ドームシティにはふんすいのある池があり、コスモフラワーとよばれるうちゅうにさく花をイメージしたおかしな形のものが見えました。講道館には嘉納治五郎先生の像がありました。おじいさんは治作、お父さんは治郎作というそうです。(小4/松本龍聖)

高低差を活かした公園

元町公園は坂の高低差を活かしたつくりで、三層です。カスケードと呼ばれる小さな人工的な滝は、公園内の高低差がうまく使われています。広場には砂場、二連式滑り台やブランコなども設置されています。また公園の端はテラス状で眺めると美しい緑の風景も観ることができます。1923年に関東大震災の被害を受け、東京都が都市復興のため整備しました。30年に完成しましたが、第二次世界大戦で門扉などを失い、復元されました。(中3/大迫輝)



元町公園の正面入口

選手のポスターで元気

東京ドームシティを過ぎ、坂を上ると順天堂大学があり、オリンピック選手のポスターが入り口にはあったので元気が出ました。サッカー通りを歩き、老岐坂を下ると嘉納治五郎の銅像があり、オリンピックにゆかりのあるところを通るんだと思いました。(小5/松本匠平)

1カ所だけ細い道を

せいりりルートで、1カ所だけ「サッカー通り」という細い道を通ります。日本に一つしかない「サッカーミュージアム」が文京区にあることをみんなに知ってもらいたいからだと思います。(小5/本間柚菜)

トーチやユニホームも

日本サッカーミュージアムは、2003年に開設されました。



日本サッカーミュージアム

サッカー日本代表が初めて出場した1936年ベルリン・オリンピックで初得点を挙げたFW川本泰三選手が着用した、無地の水色で胸に日の丸を掲げたデザインのユニホームが展示されています。64年東京オリンピックの日本代表トレーニングウェアは日の丸をイメージした赤と白のジャージー。今回の聖火リレーグランドスタートでなでしこジャパンの選手らが使ったトーチやユニホームも展示されています。(小4/中澤琉璃)



200の国・地域が柔道を

講道館を作った嘉納治五郎は流派ごとに違う「柔術」のルールを統一し、「柔道」というスポーツを認めさせました。1909年にアジア初の国際オリンピック委員会委員に就任し、40年の東京オリンピック開催の招致に成功しました(戦争のため開催は中止)。(小4/垣本律紀)

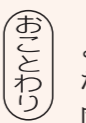
講道館は嘉納治五郎が「教育」「平和」などに役立てるために作り直しました。スポーツを通しての「教育」、人々の「平和」への祈り、これはオリンピックの理念そのものではないかと思いました。(小5/近内由佳)



春日局のお墓がある麟祥院

自転車でもきつい坂

スタート地点はトヨタ東京本社です。トヨタはワールドワイドオリンピックパートナーで、国内外問わず世界中でその権利を行使できます。ゴールの直前は長さ約500mの富坂です。下にはシビックセンターがあります。聖火ランナーが本郷方面から坂を下ってきたと思いきや、坂を上るところです。自転車で上ってもきついので、ランナーが走るのすごいことだと思いました。(小4/垣本律紀)



新型コロナウイルスの拡大状況により、公道での聖火リレーが中止になる場合があります。最新の情報は区のホームページ=QRコード。



国際大会 メダル30個以上

文京スポーツセンターで2019年12月、「第11回太田雄貴杯」が開催されました。太田さんは日本フェンシング界のパイオニアです。国際大会で獲得したメダルは30個以上、08年の北京オリンピックではフェンシングで日本人初の銀メダルをとりました。選手引退後は日本フェンシング協会会長として、得点表示や剣の動きを、LEDなど最新技術を使って見せるなど、フェンシングの普及に取り組んでいます。あるインタビューで「できない理由をさがすより、できる理由をさがす」「誰かのせいにした段階で成長がとまる」と話しており、心に残りました。(小5/ゆき)

フェンシング 太田雄貴さん

オリンピック・パラリンピック

区ゆかりの選手たち

こども記者は区ゆかりのオリンピック・パラリンピック選手について取材しました。

ゴールボール

山口凌河さん



ゴールボールを投球する山口凌河選手
—2021年2月、毎日新聞社提供

パワーをいかして得点

ゴールボールの山口凌河選手は文京区にある東洋大学の出身です。中学2年生のときに、目の難病の「レーベル病」にかかり、盲学校でゴールボールに出会いました。2013年に世界ユース選手権で優勝し、18年に男子日本代表強化指定選手に選出され、東京パラリンピック代表選手に内定しました。速攻の正確なボールコントロール、パワーをいかした得点力が持ち味です。(小6/山下初夏)

戦争負傷者のリハビリから

山口凌河選手が東京パラリンピックの初代表に内定しているゴールボールは、第二次世界大戦で視覚障害を負った軍人たちのリハビリテーションプログラムとして考案されたチームスポーツです。完全に目隠しした選手3人がコートに入り、控え選手とエスコートは各3人まで認められています。ボールは硬いゴム製で、中に鈴がはいっています。前半後半各12分で、ボールをたくさんゴールに入れた方が勝ちです。サッカーに似ています。(小6/金原更紗・小4/金原友禪)

日本人初のオリンピック選手

日本人初のオリンピック選手には文京区にある東京帝国大学(現東京大)の学生だった三島弥彦がいます。三島は審判員を頼まれた「オリンピックの出場者予選会」に選手として飛び入り参加し、1912年のストックホルム・オリンピックの陸上短距離走選手として選ばれました。当時、日本からストックホルムまで電車と汽船を乗り継いで17日間。1000円、2000円、4000円に出場した三島は、欧米人選手に完敗しました。この時、たった2人だった日本人選手は今回の東京大会では約600人。苦勞して参加した三島らパイオニアがいたからこそ、今の選手の活躍があるのだと思います。(小6/大迫輝)

陸上短距離走 三島弥彦

たくさんの音楽家

ドイツの面積は、約35万7400平方キロメートルで日本とほぼ同じですが、人口はおよそ8200万人で日本の約3分の2です。16の州によって祝日が異なります。宗教がカトリックとプロテスタントに分かれているからです。

世界遺産が多く、有名なケルン大聖堂の高さは157メートルで文京シビックセンター(141.70メートル)より高いです。ロマンチック街道の終点には、ノイシュバンシュタイン城があります。ホーエンツォレルン家のお城は「天空の城」と呼ばれています。また、ベートーベン、ブルグミュラーやメンデルスゾーンなどさまざまな音楽家を生み出しました。(小6/大迫輝)



スマホのアプリに登場したバーチャルのベートーベン。小柄なことに子どもたちは驚いていた

ドイツでさかんなスポーツはサッカーで、意外なことに乗馬も人気で、10代の女子のやりたいことのひとつだそうです。オリンピック・パラリンピックで期待されている種目はサッカーとカヌー。パラ陸上の強い選手が多いそうです。日本と一緒に応援したいです。(小6/松本匠平)

乗馬が女子に人気

ドイツと日本との交流は1861年から始まりました。面積は日本とほぼ同じで首都はベルリン、9カ国に囲まれ、景観を大切にしている屋根の色を統一しているそうです。お城は2万ありシンドレラ城のモデルになったノイシュバンシュタイン城もあります。観光街道は約1500あります。(小5/豊島悠太)

メルヘン街道の銅像

ドイツの約1500の街道はそれぞれに名前がありま

ドイツ ホストタウン情報

ゴシック様式最大の大聖堂

文京シビックセンターでドイツ観光局の武井由起さんにお話を伺いました。ドイツの世界遺産は46件で日本の2倍。一番多いのは城や大聖堂や教会などの古くからある建築物で、中でも、ケルン大聖堂は、ステンドグラスや先

端がとがっている塔が特徴的なゴシック様式としては世界最大です。

パンは3000種類を超え、主にライ麦を使用しているパンが多いです。塩味をきかせた食事系のパンや、甘く仕上げたパンなど、味も形もさまざまで、通販でも購入できます。(小5/小澤一葉)

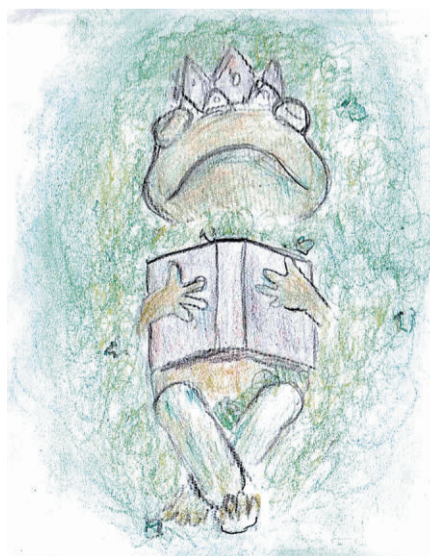
「文の京・ドイツ文化講座～観光から学ぶドイツ!」が4月24日、シビックセンター26階のスカイホールで開催されました。

文の京・ドイツ文化講座～観光から学ぶドイツ!

屋根の色を統一

ドイツと日本との交流は1861年から始まりました。面積は日本とほぼ同じで首都はベルリン、9カ国に囲まれ、景観を大切にしている屋根の色を統一している

す。私が興味を持ったメルヘン街道には、グリム童話の登場人物の銅像があり、「ブレーメンの音楽隊」、「ハーメルンの笛吹き男」、「かえるの王さま」が紹介されました。「かえるの王



かえるの王様の像
—イラスト木村夏央

さま」は、しげみの上にかえるが寝ころがって本を読んでいる姿で、とても可愛いです。全長は約600メートル、東京からだいたい青森までの距離です。(小5/木村夏央)